

2010年3月期 第1四半期決算
および
業績見通し

2009年7月28日



JFE商事 ホールディングス 株式会社

- 1 . 2010年3月期第1四半期連結決算のポイント
 - 2 . 連結損益計算書
 - 3 . 連結貸借対照表(要約)
 - 4 . 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
 - 5 . セグメント情報
 - 6 . 2010年3月期 連結業績及び配当予想
 - 7 . 売上高・経常利益推移(連結)
- 【参考】優先株の償還と配当の推移**

1. 2010年3月期 第1四半期連結決算のポイント

売上高は主に鋼材及び原材料の取扱数量の減少・価格の下落により、前年同期比 2,473億円減収の4,320億円。

経常利益は、JFE商事単独の減益(40億円)を含むほぼ全てのグループ会社が軒並み減益(73億円)となった事により、前年同期比 113億円減益の25億円。

四半期純利益は、経常利益 113億円の減益に法人税等や少数株主利益の増減を加味した結果、前年同期比 61億円減益の14億円。

2. 連結損益計算書

(億円/億円未満四捨五入)

【損益計算書】	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減額	増減率
売上高	4,320	6,793	2,473	36%
売上総利益	148	269	121	45%
(売上総利益率)	(3.4%)	(4.0%)	(0.6%)	
販売費 及び一般管理費	123	139	16	12%
営業利益	25	130	105	81%
営業外損益	0	8	8	
経常利益	25	138	113	82%
特別損益	-	5	5	
四半期純利益	14	75	61	81%

売上高

JFE商事(単独)	1,944億円
・鉄鋼	1,003
・原材料・資機材	941
建材・鋼管分社3社	385億円
国内子会社	296億円
海外子会社	186億円
HD、分割3社	22億円
連結修正	360億円

売上総利益

JFE商事(単独)	47億円
国内子会社	57億円
海外子会社	13億円 等

販売費及び一般管理費

一般経費、人件費の減 等

営業外損益

持分法投資損益の悪化 等

特別損失

当四半期 : 無し

前年同期 : 棚卸資産評価損 5億円

3. 連結貸借対照表(要約)

(億円)

【貸借対照表】	当四半期末 (6月末)	前年度末	増減額	増減の主な内訳
総資産	5,550	6,355	805	売上債権 : 540 (JFE商事 286、建材・鋼管分社3社 184) 現預金 : 179 棚卸資産 : 118 (JFE商事 86、建材・鋼管分社3社 9、 JFE商事薄板建材 5他)
純資産	1,189	1,147	42	利益剰余金 : +0 (四半期純利益 +14、前期末剰余金配当 14他) 評価換算差額等 : +47(株式 +25、為替 +20) 少数株主持分 : 5
有利子負債	1,376	1,478	102	JFE商事 : 95(短期借入) 海外子会社 : +13(内、為替による影響 +20)他
有利子負債倍率 (DER)	1.21倍	1.36倍	0.15倍	有利子負債 ÷ (純資産 - 少数株主持分)
自己資本比率	20.4%	17.1%	3.3%	(純資産 - 少数株主持分) ÷ 総資産

4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(億円)

【キャッシュ・フロー計算書】	当四半期末 (4-6月)	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	37	税前利益 +25、減価償却費 +15、 営業債権債務の立替の増 172、 在庫の減 +134、法人税等の支払 80 他
投資活動による キャッシュ・フロー	9	固定資産取得(システム投資、加工拠点での設備投資等) 9 (内、JFE商事 5、江蘇川電 1、栃木シャーリング 1 他)
フリー・キャッシュフロー	46	
財務活動によるキャッシュ・フロー	140	借入金の返済 123、JFE商事HD支払配当 12 他
現金及び現金同等物の増減	179	(現金及び現金同等物の換算差 +7含む)
現金及び現金同等物の四半期末残高	437	

5. セグメント情報 (鉄鋼および鉄鋼周辺)

(億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減額	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減額
鉄鋼および 鉄鋼周辺	4,251	6,699	2,448	24	128	104

【JFE商事】 41億円

国内鉄鋼 …… 数量 747千トン、価格 +17.9千円/トン

鉄鋼貿易 …… 数量 154千トン、価格 246.5ドル/トン、(為替 103円 98円)

原材料 …… 鉄鋼原料、スクラップ、コークスの取扱数量及び単価の減により減収減益。

【グループ会社】 63億円

国内子会社 …… 51億円

海外子会社 …… 12億円 (内、石炭投資会社 +6億円)

販売数量の拡大と収益力の向上に努めたが、鋼材需要の本格的な回復がみられなかったことに加え、鋼材価格下落の影響を避けられず減収減益。

5. セグメント情報 (鉄鋼以外)



(億円)

セグメント	売上高			営業利益			主な内訳
	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減額	当四半期 (4-6月)	前年同期	増減額	
食品	54	65	11	1	1	+ 0	<p>冷凍水産物や中国産加工食品の取扱数量が減少したことから、売上高は減少。 営業利益は、第3のビール「プライムドラフト」や加工用冷凍魚の輸入取引の増加に加え、米国や中近東・アフリカ地域におけるGEISHA缶詰の取引拡大が寄与。</p>
半導体	14	27	13	0	1	1	<p>通信用ICや遊戯機器用画像基盤の取引拡大に取り組んだものの、主力分野である事務機器用ASIC製品について、取引先の大幅な生産調整に伴う販売数量の減少や価格の低下が大きく影響し、減収減益。</p>
不動産	1	1	+ 0	0	0	0	<p>保有不動産の売却に取り組む。</p>

6. 2010年3月期 連結業績及び配当予想

鉄鋼業界の動向

自動車・電機産業における在庫調整が一巡し、
生産水準は徐々に上向いていくものの、
製造業全体としては引き続き在庫調整が続くことから、
鋼材需要の回復のスピードは総じて緩やかなものにとどまると予想。
鋼材価格についても国内外ともに軟化基調が続くと思われる。

計画達成に向けた施策

既存取引先への販売数量の最大化と新規取引先の開拓などの拡販
一般経費や在庫および使用資金の圧縮による金融コストの削減
コスト削減を中心とする収益改善策の展開

〔 国内外の加工拠点における歩留りの改善
低稼働ラインの集約による加工体制の最適化 など 〕

業績予想に変更なし。
(平成21年4月28日公表)

当第1四半期の連結業績は、
概ね予想通りに推移

JFE商事の業務改革活動

より創造的で付加価値の高い業務遂行を目指した業務改革活動「J - SLIM」を推進。
基幹システム「J - BEAT」の効率的な活用方法の推進やテレビ会議などのインフラ整備に加え、
会社の制度や業務プロセスについても、従来の手法や既成概念にとらわれない発想で検討を行い、改善を実施。
全社員が絶えず業務改善に取り組み続ける企業風土の確立を図る。

6 . 2010年3月期 連結業績及び配当予想



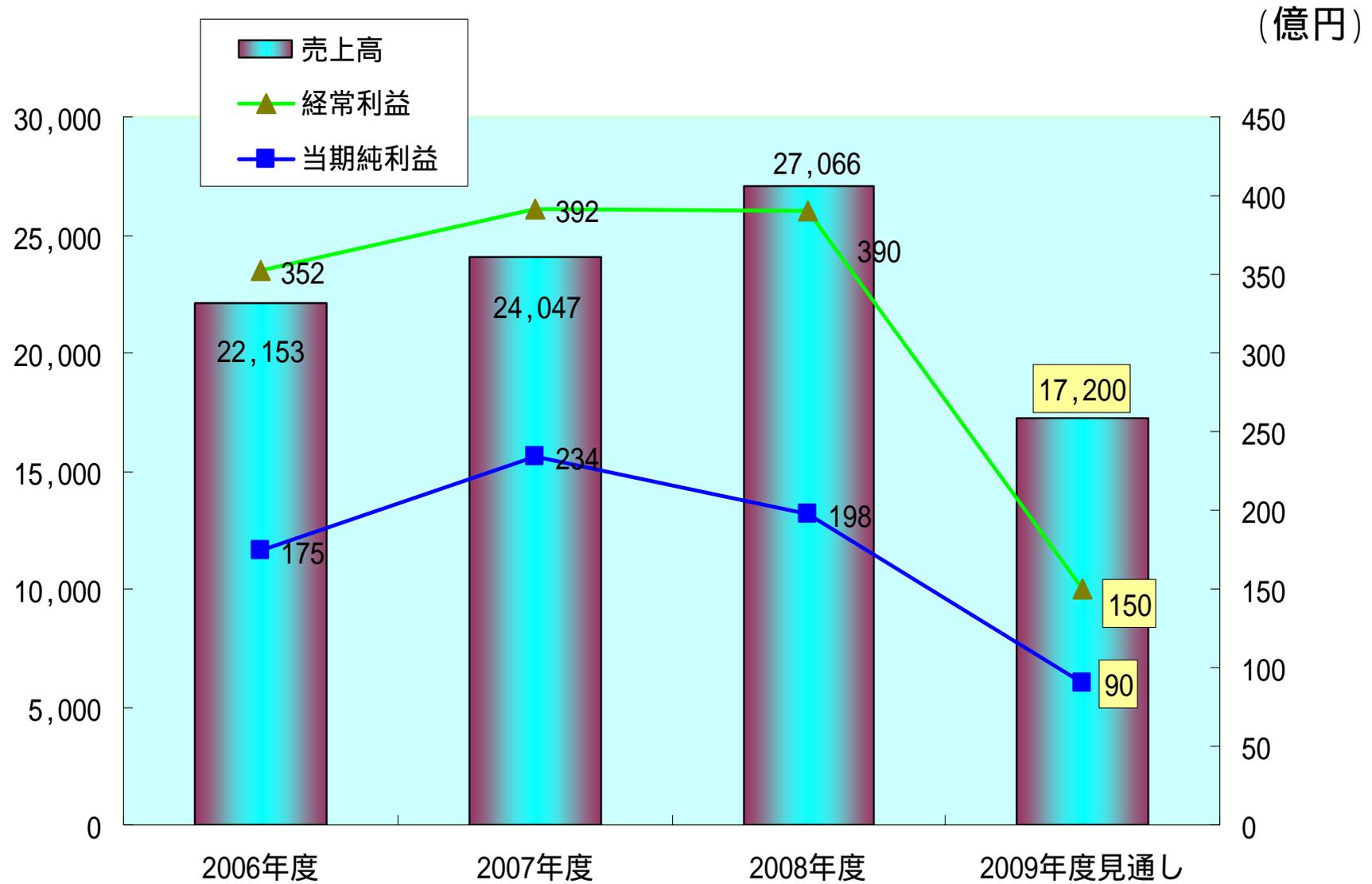
4月28日の公表値に変更なし。

(億円)

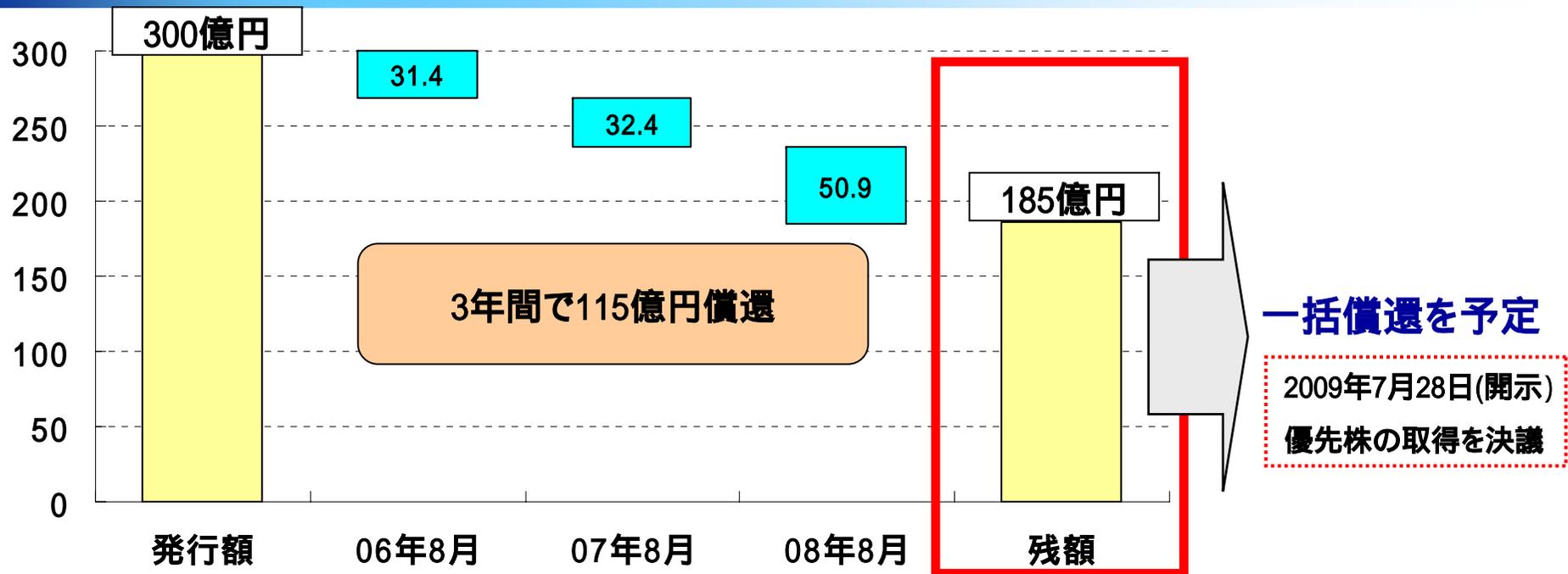
通期連結業績	10.3期 予想	09.3期 実績	増減額	増減率
売上高	17,200	27,066	9,866	36%
営業利益	160	402	242	60%
経常利益	150	390	240	62%
当期純利益	90	198	108	55%

1株当たり配当 (普通株)	5円	10円
------------------	----	-----

7. 売上高・経常利益推移(連結)



【参考】優先株の償還と配当の推移



	06年度	07年度	08年度	09年度(予定)
配当(普通株)	7円	10円	10円	5円
配当性向(普通株)	9.7%	10.3%	12.1%	13.1%
配当性向(優先株配当を含む)	11.5%	11.9%	13.7%	



JFE

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。